

# 野田聖子

## だれもが「わかる政治」を

国民一人ひとりが安心してできる持続可能な社会。これが私の目指す日本の姿であり、「政治」の力で多様性社会というパラダイムシフトを加速させたい。今回、私が自由民主党の総裁選に立候補した理由です。

これからの社会は多様性が大事だと言われていきます。私が考える多様性社会とは、自らの正義を貫くだけでなく、対立する正義があることを認識し、互いに理解しながらより良い未来を築いていくということ。日本が多様性社会となるためには、これまでの常識や価値観、社会のルールも大きく変わっていかねばなりません。つまり「パラダイムシフト」が必要なのです。

しかし、パラダイムシフトをただ待つだけではいけません。時代の変化に追いついていないルールや慣例によって、不自由な思いをする人や不利益を被る人が増えてしまうからです。そこで必要なのが「政治」の力です。法律を時代に合わせて修正し、整備することで、社会で悩み苦しんでいる人たちに手を差し伸べる。立法によるパラダイムシフトの後押し。これこそが政治家の使命だと考えています。

新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きく変わりました。ポストコロナ時代を見据え、新型コロナウイルス感染症対

策、持続可能で活力ある経済社会への立て直し、少子化対策のための「こどもまんなか社会」の創造など、いまの私たち、そして子や孫たちの未来を守るために、取り組むべき課題はたくさんあります。

この危機を乗り越えるためには、国民の皆さんとの信頼関係が大切です。そのため、情報公開や、納得いただくまでの説明を尽くすことで政治を透明化し、諸課題の解決に必要な不可欠な国民の皆さんのご理解とご協力が得られるよう取り組みます。私は、皆さんとともに、日本の未来を守るために、全力を尽くしてまいります。

衆議院議員 野田聖子



### 基本姿勢 国民のだれもがわかる透明な政治を確立する

#### 政策1. 新型コロナウイルス感染症対策

- 危機の実態について、専門家の知見を含め細やかな情報発信。最終的な方針決定は、政治が責任を持って行う。
- いざという時に必要な医療が保証される体制を構築（ワクチン特効薬の供給確保、臨時コロナ専用病床の確保、幅広い医療関係人材の協力を得るなど非常時体制の強化、支援の拡充など）。

#### 政策2. 防災・減災、国土強靱化の加速

- 国民のいのちを守る政治の根幹と原点を忘れずに取り組む。
- 頻発する大規模災害を踏まえて、再度脆弱性調査を見直し、必要な事業推進を加速化する。
- 災害復旧については、インフラの強度を高めて整備する改良復旧を原則とする。

#### 政策3. こどもまんなか政治の創造

- 「こどもまんなか庁」の設立を通じて、こどもをしっかりと守れる「こどもまんなか社会」の実現と少子化からの脱却を目指す。

#### 政策4. 人財発の個性・多様性の発揮

- 個性・多様性の源泉である女性、高齢者、障害者、LGBTQなど、全ての国民が力を発揮できる「フェア」な制度に向け、改革を推進。個々の生き方を尊重し、選択的夫婦別姓の実現を目指す。
- 女性の活躍を支えるフェムテック(Female Technology)を推進。健康の悩みにも対応を強化。

#### 政策5. 本格的な地方創生の進展

- 日本の活性化の主役は地方。防災やパンデミック対応の

観点からも地方の価値を再評価。ポストコロナの新たな社会建設の象徴として首都機能移転を推進。

- 地方が自らの課題に自立的に取り組めるよう、地方の財源を安定的に確保。
- 地域の生活の支えとして極めて重要な、郵便局やJAの更なる活用。
- 「大企業発のトリクルダウン型モデル」から、全ての国民、地方の個性・多様性、知恵が価値を生む「人財発・地方発のモデル」にパラダイム転換。

#### 政策6. 外交・安全保障

- 民主主義と人権尊重という「価値観の共有」を基軸とした外交を推進。
- 日本の自衛を担う若き自衛官へのリスペクトと十分な処遇の確保。
- アフガニスタン事態での邦人保護オペレーションへの反省を踏まえて、早急に打つべき手を打つ。
- グレー・ゾーン事態などにすき間なく迅速に対応できる体制整備を急ぐ。
- 経済安全保障、食料安全保障の観点から必要な制度を早急に整備。

#### 政策7. 次世代への責任として持続可能な環境とエネルギー需給

- 2050カーボンニュートラルの実現は次世代への責任。温暖化ガス削減など次世代に未来を残す取組を推進。
- 埋蔵量世界3位の地熱、洋上風力をはじめ、再生可能エネルギーの供給拡大、省エネの推進などを実現するため、政策手段を最大限活用。
- CO2排出量の削減など世界の持続可能性を向上するためのルール策定に貢献。

#### 略歴

- 昭和62年4月 岐阜県議会議員選挙当選
- 平成5年7月 第40回衆議院議員総選挙で初当選以来連続9期当選
- 平成10年7月 郵政大臣
- 平成20年8月 消費者行政推進担当大臣 宇宙開発担当大臣 内閣府特命担当大臣
- 平成20年9月 消費者行政推進担当大臣 宇宙開発担当大臣 内閣府特命担当大臣
- 平成24年12月 自由民主党総務会長
- 平成29年8月 総務大臣 女性活躍担当大臣 内閣府特命担当大臣
- 平成30年10月 衆議院予算委員長
- 令和元年9月 自由民主党 党・政治制度改革実行本部長
- 令和2年9月 自由民主党幹事長代行

野田聖子衆議院議員の情報配信

LINE



Facebook



Instagram



Twitter

